

## 令和3年度 都島区運営方針

(区長:大畑 和彦)

## ◆計画

区の目標（何をめざすのか）
「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現

区の使命（どのような役割を担うのか）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民の安全・安心を守る防災・防犯などを礎に、活力ある地域社会の実現</li> <li>・地域の見守りなど、誰もが安心して暮らすための健康・福祉の充実</li> <li>・水と緑の豊かな都島区の魅力を発信し、わがまち意識の醸成</li> </ul>

令和3年度 区運営の基本的な考え方（区長の方針）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「幸せになれるまち、都島区」の実現をめざします。</li> <li>・「教育力向上区宣言」を通して、教育力の高いまちの実現をめざします。</li> </ul>

重点的に取り組む主な経営課題（様式2）	
経営課題の概要	主な戦略
<b>【経営課題1】安全・安心のまちづくり</b> 災害時の備えなど意識と行動が伴うよう区民の防災・減災意識を高めていく必要がある。	(防災のまちづくり) 出前講座等の啓発や広報誌、SNS等の様々な媒体を活用した情報発信を行うなど区民の防災意識の向上に取り組む。
主な具体的取組（3年度予算額）	
(自助の取組みの推進) 日頃からの災害への備えや、迅速な避難行動につなげていくため、高齢者や子育て層など支援が必要な世帯に向けた啓発活動や、広報誌、SNS等を活用した情報発信に取り組む。(1,585千円)	
経営課題の概要	主な戦略
<b>【経営課題2】人と人がつながり、助け合うまちづくり</b> 子育てをしている保護者の孤立を防ぎ、子育ての不安感・負担感を軽減するため、地域の子育て情報を周知するとともに、虐待相談を含む相談窓口を拡充する必要がある。	(安心して子育てできるまちづくり) 子育てに不安を持つ保護者等が気軽に相談できるよう、対面での相談に加え、SNS等を活用した子育て支援を推進する。
主な具体的取組（3年度予算額）	
(子育て相談体制の充実) 子育ての不安感や負担感を軽減するため、様々な機会をとらえて相談できる窓口等を周知し、臨床心理士等の有資格者が専門性を活かし、相談に応じる。(6,751千円)	

経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題3】明日に誇れるまちづくり 学校や家庭だけでなく、地域で子どもを支える場づくりなど、子どもが明るく健やかに成長できるよう、環境を整備する必要がある。また、経済的な理由等で学習面での機会が少ない子どもに対する直接的な支援が必要である。</p>	<p>(未来の都島を担う人材育成) 学校内外で、子どもを支える環境の充実に向けて取り組む。</p>
<p>主な具体的取組（3年度予算額）</p>	
<p>(子どもを支える環境の充実) 経済面や家庭環境に課題を抱える小学生をサポートするため、学習支援・悩み相談を行う居場所を区内9地域に開設する。(7,324千円)</p>	
<p>【経営課題4】区役所力の強化 行政や地域活動の情報を、読み手視点でわかりやすく、かつ対象に応じた提供が必要である。</p>	<p>(区民の声が区政に反映される仕組みづくり) すべての区民に行政サービスや地域活動の様子をわかりやすく提供するとともに、読み手視点に立った情報をタイムリーに発信する。</p>
<p>主な具体的取組（3年度予算額）</p>	
<p>(広報の強化) 広報誌を全戸配付し、区民にわかりやすい情報を提供する。また、ホームページやSNS等を活用して、行政情報をはじめ、地域活動の様子をタイムリーに発信する。(22,183千円)</p>	

「市政改革プラン3.0」に基づく取組等（様式3）	
主な取組項目	取組内容
-	-
主な取組項目	取組内容
-	-
主な取組項目	取組内容
-	-

## ◆自己評価

## 1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

区運営方針に掲げる各経営課題の戦略ごとの具体的な取組については、着実に推進できており、目標は概ね達成し、一定の成果を得ることができたと認識している。

## (安全・安心のまちづくり)

防災事業の参加者を中心に区民の防災意識は高まっているものの、区民全体としては自助・共助についての認識が進んでいないという結果が見られた。今後は、特に子育て世代や高齢者世代を重点的に啓発を行う。

防犯のまちづくりについては、警察と連携した防犯啓発活動の継続やSNSなどを通じた積極的な発信により、区民の防犯意識は高まりつつあるが、特殊詐欺の被害については改善が見られない状況である。引き続き、警察との連携を強化しより積極的に啓発を行う。

また、環境美化のボランティア活動への参加者だけでなく、区民アンケートの回答からも啓発による意識の向上が確認できる。また、喫煙マナーに対する意見が多数確認できることから、引き続き喫煙マナーの向上に向けた啓発活動等に取り組み、路上喫煙禁止地区の周知を図る。

## (人と人がつながり、助け合うまちづくり)

コロナ禍により、区民まつりの中止や地域活動の中止・延期など、当初の予定どおりに取組を進めることが難しい状況であったが、区広報誌をはじめ区のFacebookやYouTubeなどSNSを活用して地域活動の情報発信を行うことにより、地域住民の地域活動への理解促進に努めた。また、地域活動協議会の活動が中止となる中、オンライン活用の推進支援や企業連携の支援など、自律的な取組が着実に進められるよう支援を行った。

引き続き感染症対策を実施しながら、地域活動を通じた人と人とのつながりの機会の提供のあり方などの検討を進めるとともに、地域活動に関わりの薄い住民の参加促進や第一層支援などを行うことでコミュニティ豊かなまちづくりに向けた取組を進めていく。

地域福祉コーディネート事業については、区民アンケートにおいて、地域の見守り活動があることにより安心して暮らし続けられると回答した割合は、令和2年度に比べ微増したものの、目標には到達しなかった。引き続き「身近な相談窓口」のみならず、地域の見守り活動拠点として、地域福祉コーディネーターが調整役となって見守り活動を行っていることをアピールしていく。

子育て支援については、地域の子育て情報の周知や相談窓口の拡充を行い業績目標は達成しているが、子育ての負担感・不安感は子どもの成長とともに増加していくため、引き続き取組を行っていく。

## (明日に誇れるまちづくり)

水辺のにぎわいづくりについては、コロナ禍により、4月～6月の一部期間において桜ノ宮ビーチが閉鎖されていたが、3月には、「ファミリーサッカー教室in桜ノ宮ビーチ」を約5年ぶりに開催することができた。

区の魅力発信については、今年度から、地域と連携し区内に菜の花プランターを設置する取組を行った。また、菜の花プロジェクトや壁面アート等を実施した様子を動画や広報誌に掲載するなど、広く発信を行った結果、区YouTubeチャンネルの再生回数は前年度を上回った。引き続き、区の魅力資源や文化等の発信に取り組んでいく。

また、未来の都島を担う人材育成については、学力・体力向上にかかる授業への支援に加え、学習習慣定着や不安解消のための居場所づくりに取り組んだ結果、学校や参加者アンケートにおいて高い評価がなされ、いずれの取組も目標値を達成することができた。

## (区役所力の強化)

区政会議では、委員の任期満了により10月に委員改選を行い、新たに18名の委員の選定を行った。また、区民アンケートや区長出前講座などを通じて、多様な区民意見やニーズの把握に取り組んだ結果、区民アンケートにおいて「自分の意見を区に伝える方法を知っている」と回答した区民の割合は過半数を超え、目標達成に至った。

接遇スキル向上の取組については、外部講師による接遇研修が、昨年度に引き続きコロナ禍により実施できず、当区への転入者や新規採用者を対象にした接遇マニュアル等による自己研修の実施にとどまった。

また、令和3年度「来庁者等に対する窓口サービスの格付」は、令和2年度の☆2つから☆1つへと格付けが下がる結果となった。

令和4年度では、新たな接遇改善検討チームを立ち上げるなど、区役所を挙げて接遇能力の改善・向上に取り組む。

## 解決すべき課題と今後の改善方向

「市政改革プラン3.0」の改革の柱である「地域活動協議会による自律的な地域運営の促進」について、人と人とのつながりの希薄化や、担い手不足など、解決すべき課題があると認識している。引き続き、地域に関わりの薄い住民参加の促進をはじめ、地域の实情に即した活動支援に取り組んでいく。

「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現に向け、地域活動やイベント情報について、広報誌の連載やSNSなどを活用し、あらゆる機会を通じてタイムリーに発信することで、地域コミュニティの活性化につなげていくとともに、区民の意見やニーズの的確な把握に努めるなど、より効果的な区政運営に取り組んでいく。